

2026年5月12日

各位

会社名 シンバイオ製薬株式会社  
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 吉田 文紀  
(コード番号: 4582)  
問合せ先 IR室 (TEL. 03-5472-1125)

**移植後リンパ増殖性疾患 (PTLD) を対象とした NIH/NIAID との  
共同研究開発契約 (CRADA) 期間を 3 年間延長  
- ブリンシドホビル (BCV) の EB ウイルス関連疾患での治療法開発を推進 -**

シンバイオ製薬株式会社 (以下、シンバイオ製薬) は、米国国立衛生研究所 (NIH) 傘下の米国国立アレルギー・感染症研究所 (NIAID) の Jeffrey Cohen 博士の研究チームと移植後リンパ増殖性疾患 (PTLD) を対象に締結している共同研究開発協定 (CRADA) を 3 年間延長することになりました。

シンバイオ製薬はこれまで NIH/NIAID の研究チームとの共同研究により、ヒト化マウスを用いて EB ウイルスの再活性化を伴った動物モデルの作製に成功しております。今後の共同研究は本動物モデルを活用して BCV の治療効果を検証し、臨床試験の開始に向け、知見を蓄積することを目的としております。

代表取締役社長兼 CEO 吉田文紀のコメントです。「移植後リンパ増殖性疾患 (PTLD) や EB ウイルス関連リンパ増殖性疾患は治療の選択肢が限られています。シンバイオ製薬は NIH/NIAID の研究チームとともに、これらの疾患に対する治療法の開発に向け、本研究を一層推進してまいります。」

なお、本件が 2026 年 12 月期の連結業績に与える影響はありません。

以上

## 注記

### 1. 米国国立衛生研究所/アレルギー・感染症研究所 (NIH/NIAID) との共同研究開発契約 (CRADA)

シンバイオ製薬は、2023年4月に米国国立衛生研究所 (NIH) 傘下の国立アレルギー・感染症研究所 (NIAID) と共同研究開発契約 (CRADA) を締結しました。本契約は、BCV の EBV ウイルス (EBV) に対する抗ウイルス作用の検証、および EBV 関連リンパ増殖性疾患を対象とした非臨床試験の実施を目的とするものです。今回の契約更新により、本 CRADA の契約期間は 2029 年 4 月まで延長されます。BCV は EBV に対して高い抗ウイルス活性を有しており、再活性化した EBV の増殖抑制による治療効果について、今後さらなる評価を進め、確かなエビデンスを構築する予定です。

### 2. 移植後リンパ増殖疾患 (PTLD) について

EBV は成人の 9 割以上が潜伏感染をしているウイルスですが、健康な状態で免疫により増殖が抑制されています。しかし、臓器移植後の免疫抑制剤の使用などにより免疫機能が低下すると、EBV が再活性化し、リンパ球 (B 細胞) が異常に増殖することで PTLD を発症します。PTLD は進行が極めて速く、重症化した場合の生存率は極めて低い難治性疾患です。既存の化学療法や免疫抑制剤の減量だけでは十分な効果が得られないケースが多く、ウイルス増殖そのものを標的とした新たな治療戦略が切望されています。

### 3. 3本の治療領域を柱とした BCV の事業戦略

シンバイオ製薬は 2019 年 9 月、BCV のグローバルライセンスを取得して以来、3つの治療領域において、そのポテンシャルを掘り起こすことを目的として世界最高レベルの研究機関と共同研究を進めてきました。現在、対象疾患領域として、第1の柱である造血幹細胞移植後のウイルス感染症領域をはじめ、第2の柱として血液がん・固形がん領域、第3の柱として脳神経変性疾患領域の3治療領域を中心に経営資源を集中して開発を進め、グローバルに事業展開をすることにより BCV の事業価値の最大化を目指しています。